



WILD SPEED SURVIVOR **V8 INTERCEPTOR**
Super Charger

WILD SPEED SURVIVOR

PAPERCRAFT INTERCEPTOR 2 DIRT MODEL





完成見本

PAPERCRAFT INTERCEPTOR 2



推奨用紙
サイズ

A3 ノビ

(最小パーツの工作限界から想定しています)

推奨用紙

無光沢 薄手

(台座、骨組み以外の全てのパーツ)

サンワサプライ
JP-DEC2A3N

0.157mmの薄手で少し高価な用紙ですが、非常に色調が美しく、ダート・モデルの汚しの効いた質感を上手く表現します。

フォトマット中厚

(台座、骨組みのみ)

富士フイルム
PMA3N10PRO

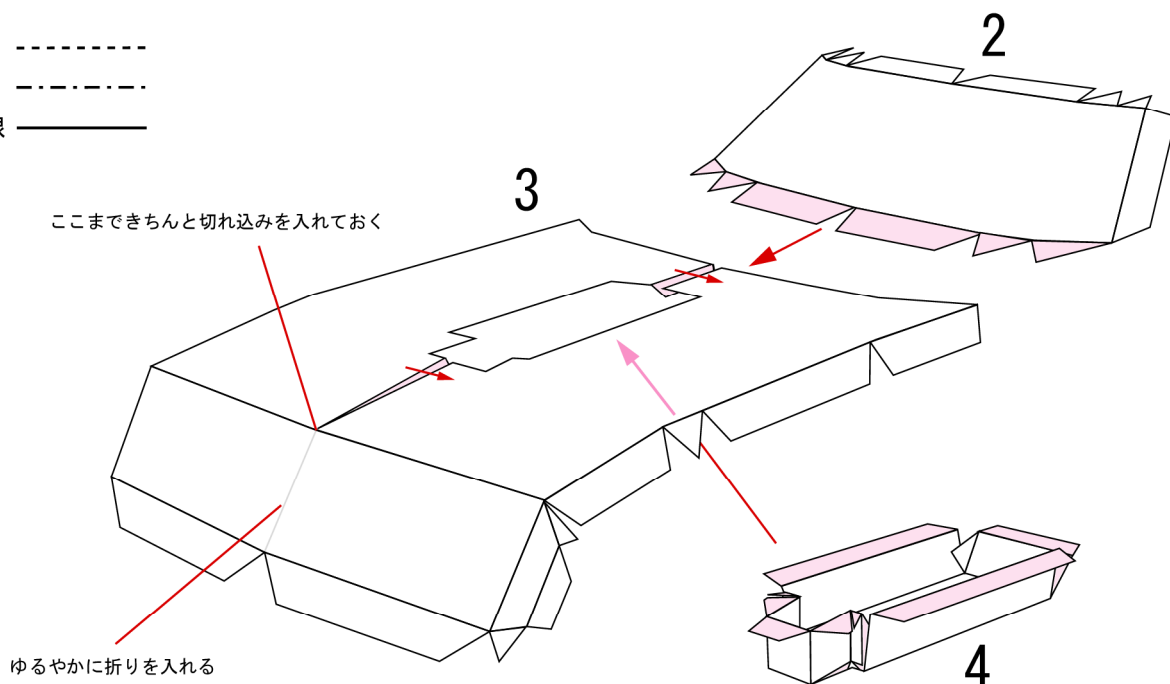
台座と骨組みパーツについてはある程度の強度を得るため、最低、中厚以上の紙厚が必要です。

作例はこの用紙で制作しています。

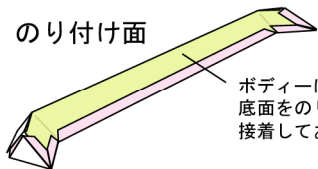
組み立て説明書

- ペーパークラフト制作に不慣れな方はまず「ペーパークラフト制作の基本」を読んでから制作に入ることをお奨めします。
- 用紙をカットする前にまず定着液(フィクサチーフ)を充分塗布しておくことで印刷面の粉落ちをある程度防ぐことができます。
- 制作は「組み立て説明図」以外に「完成見本」写真も参照しながら行なうと、細部の位置合わせなど参考になります。

山折り線 - - - - -
谷折り線 - - - - -
切り取り線 ———

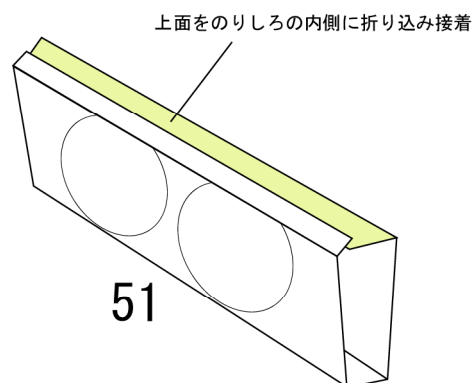
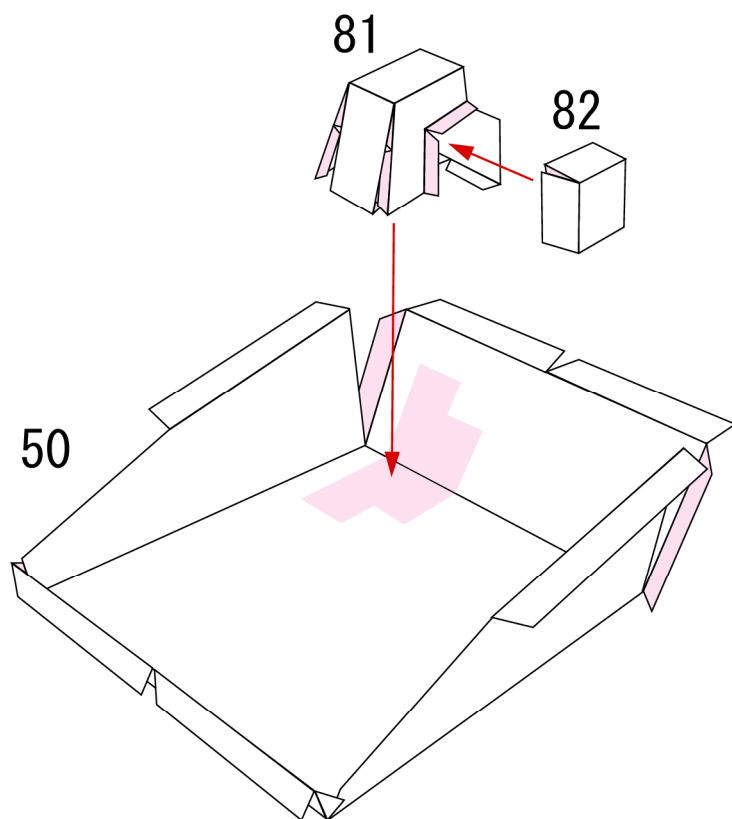
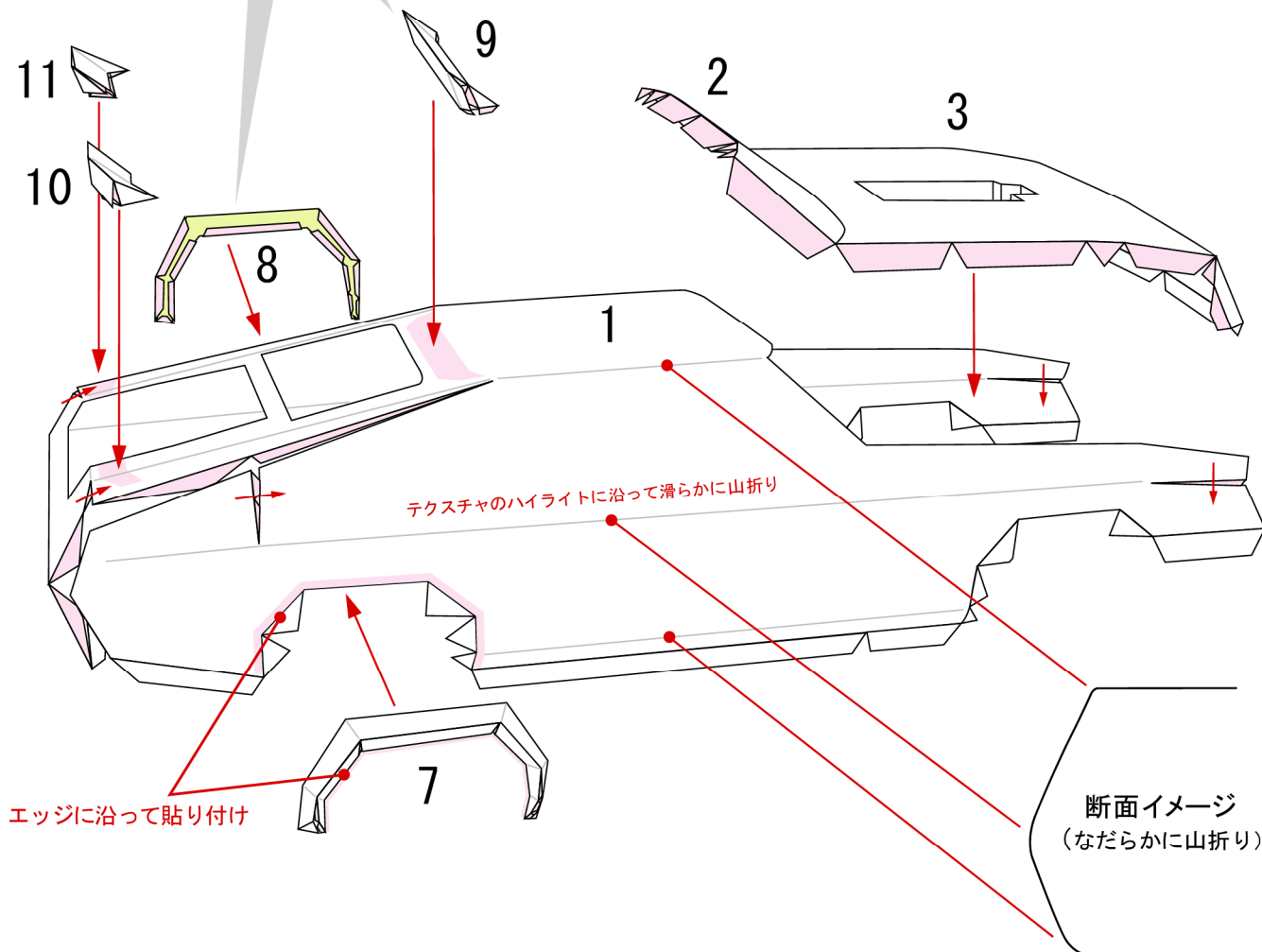


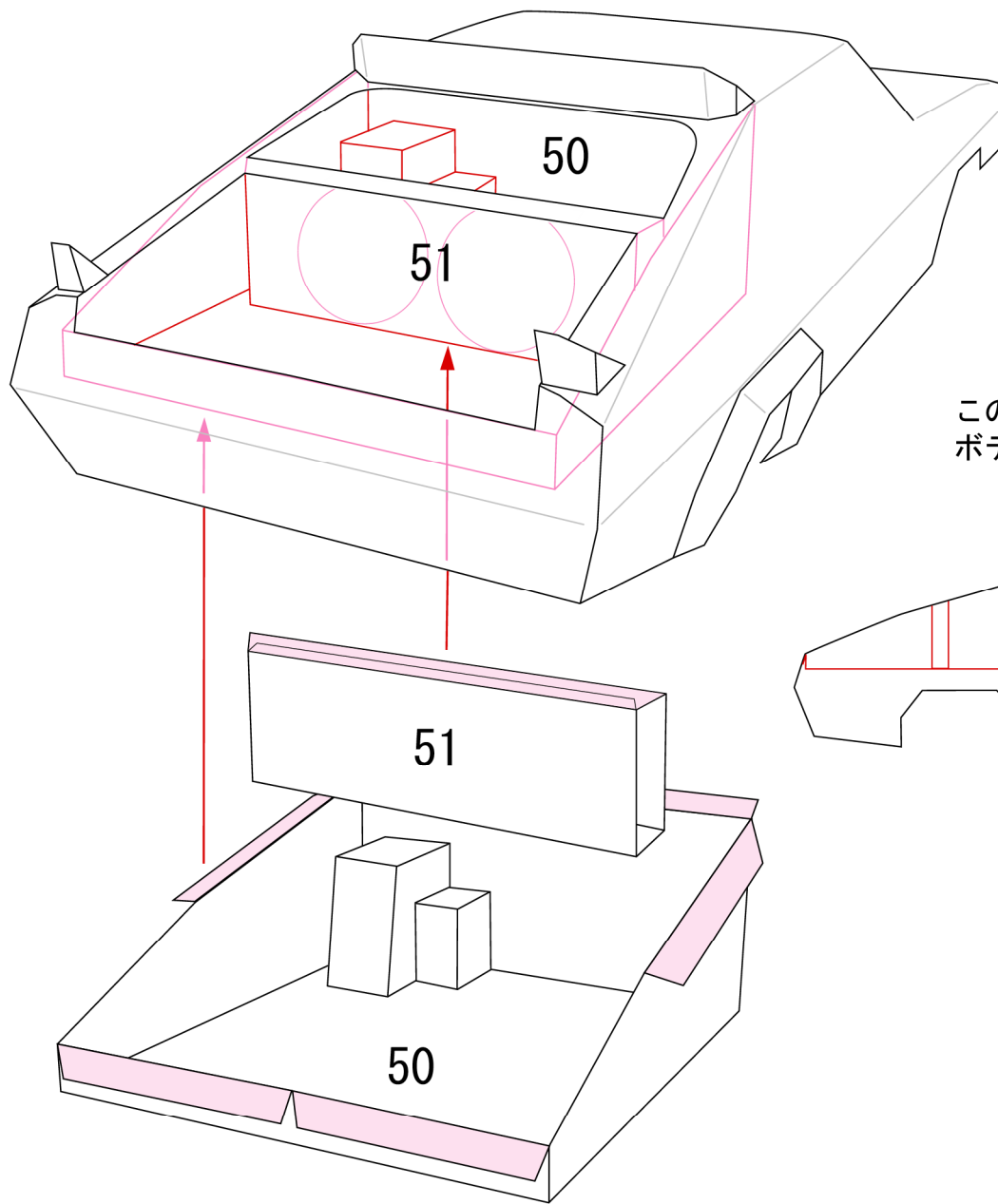
のり付け面



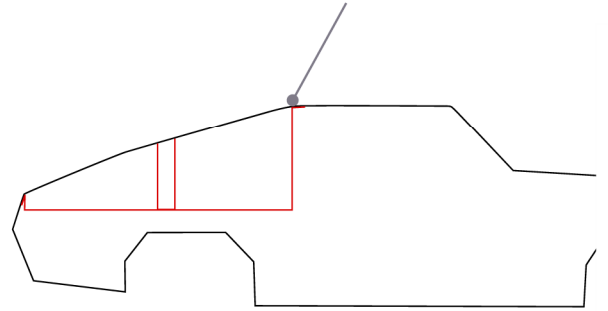
ボディに貼る前に、図のように
底面をのりしろの内側に折り込み
接着しておく(7も同様)

※パーツの後ろ前注意！

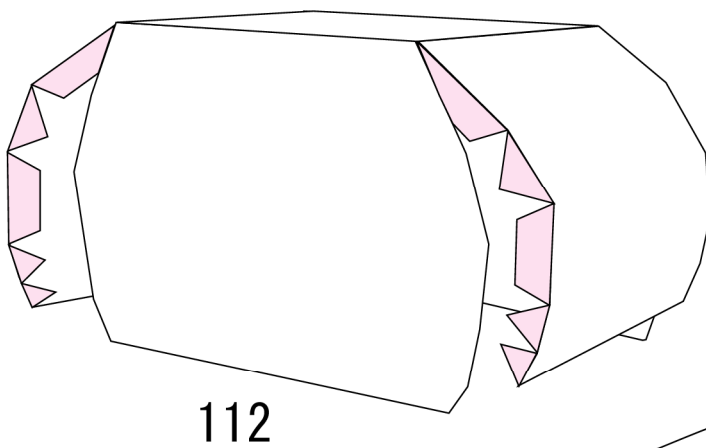




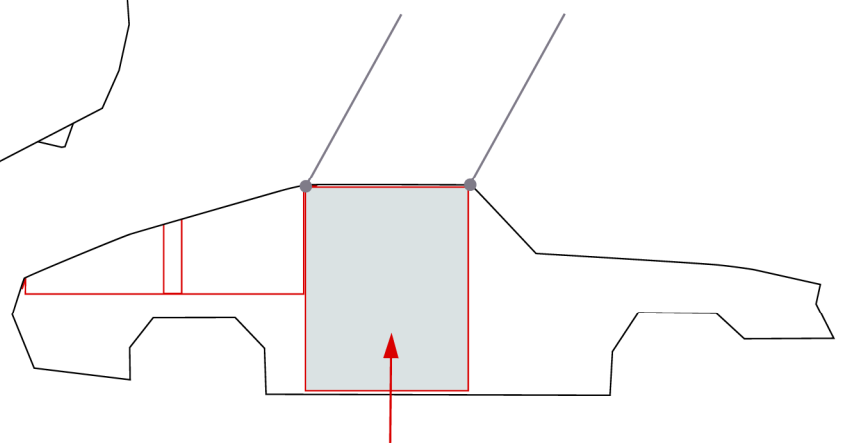
この折れ線位置を目安に
ボディー内部にのり付け

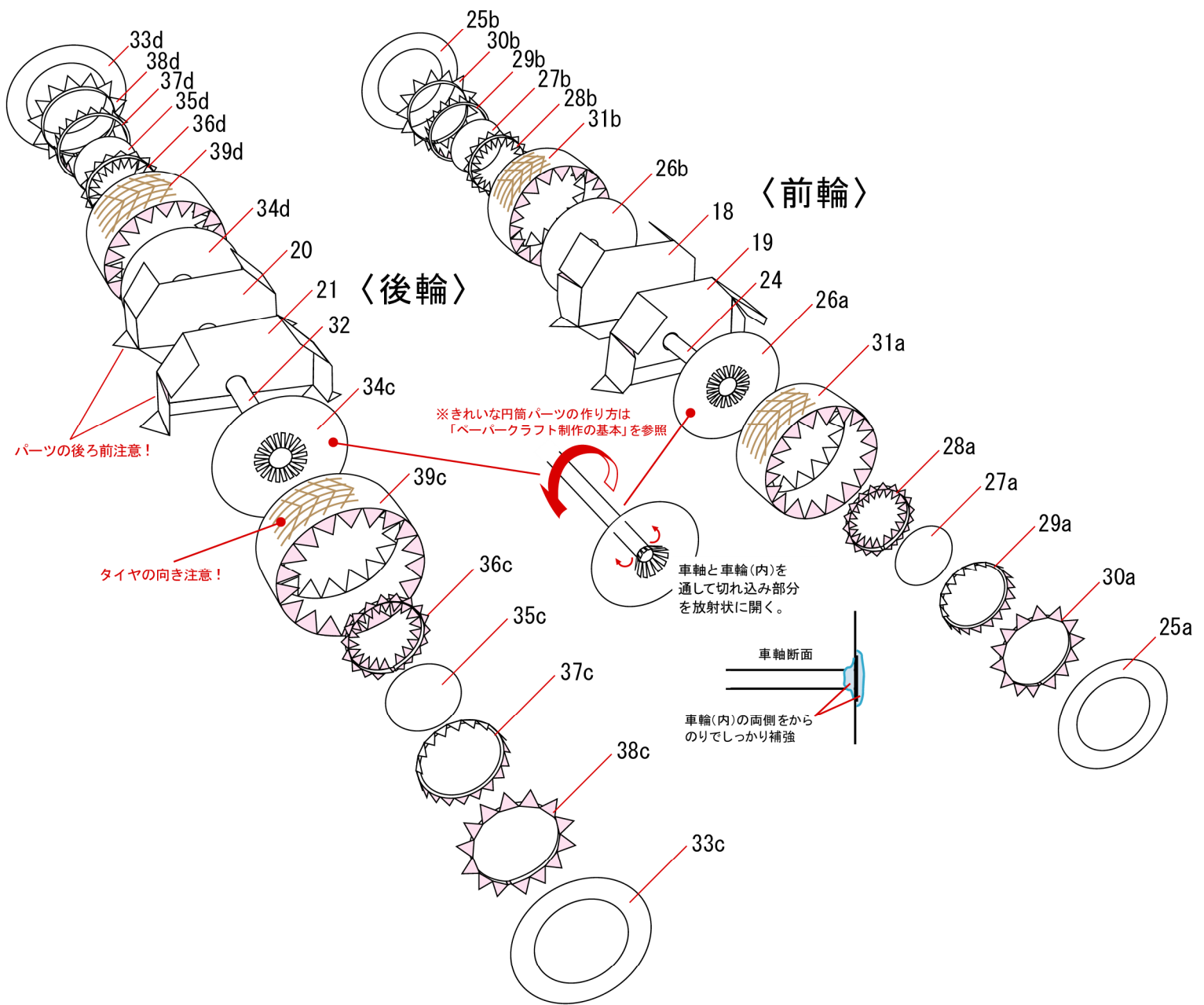


骨組みの制作 (このパーツの用紙は強度を保つため中厚以上がおすすめです)

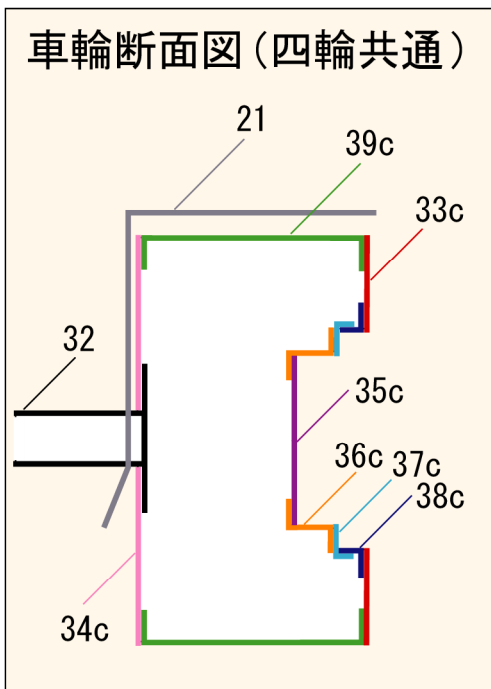


この位置に合わせてボディー内部にセット

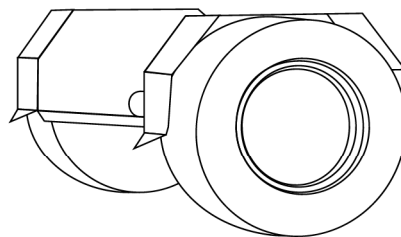




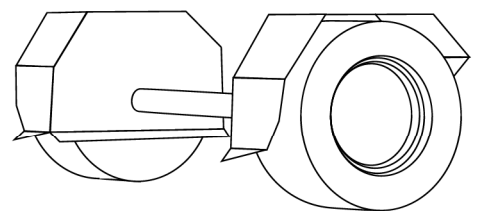
車輪断面図 (四輪共通)

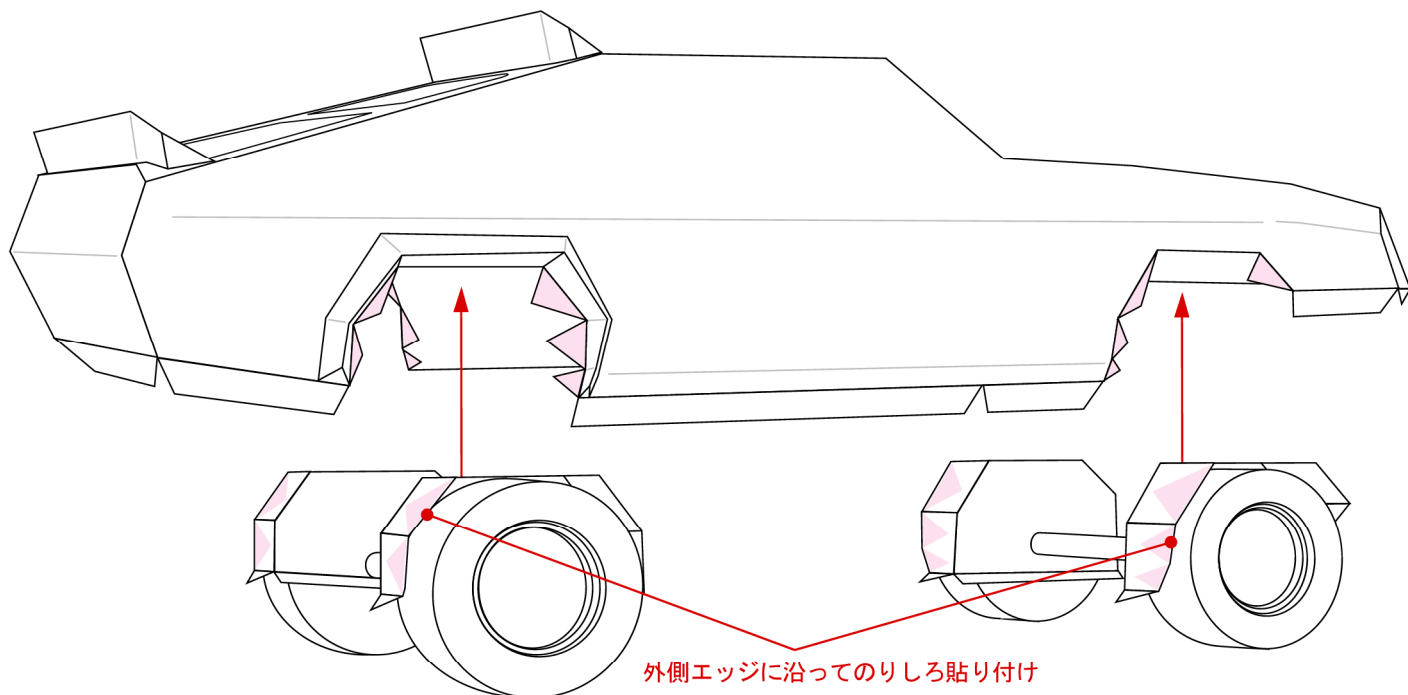


後輪完成図

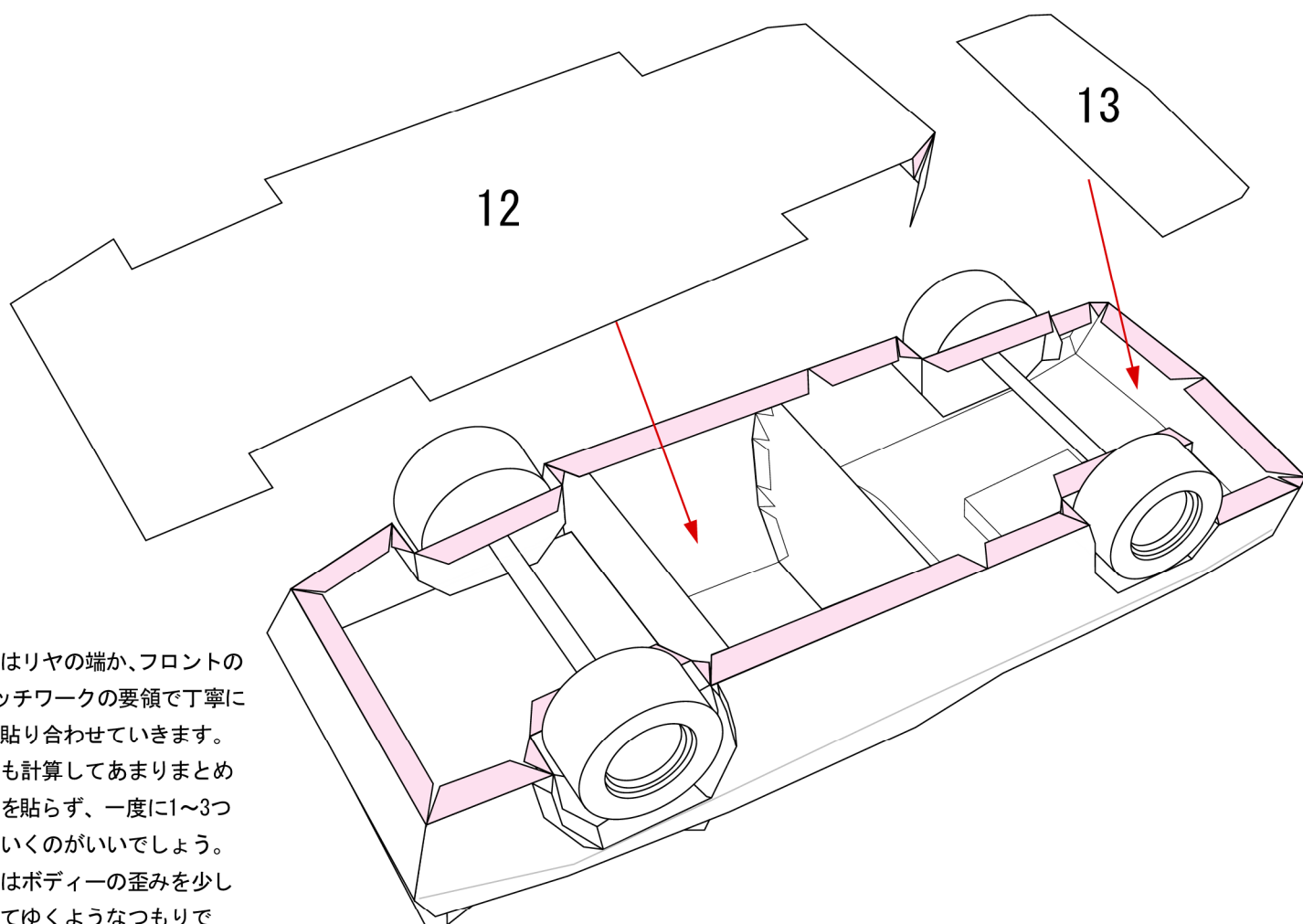


前輪完成図



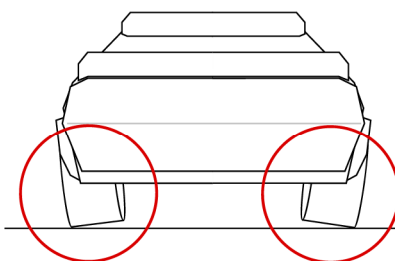


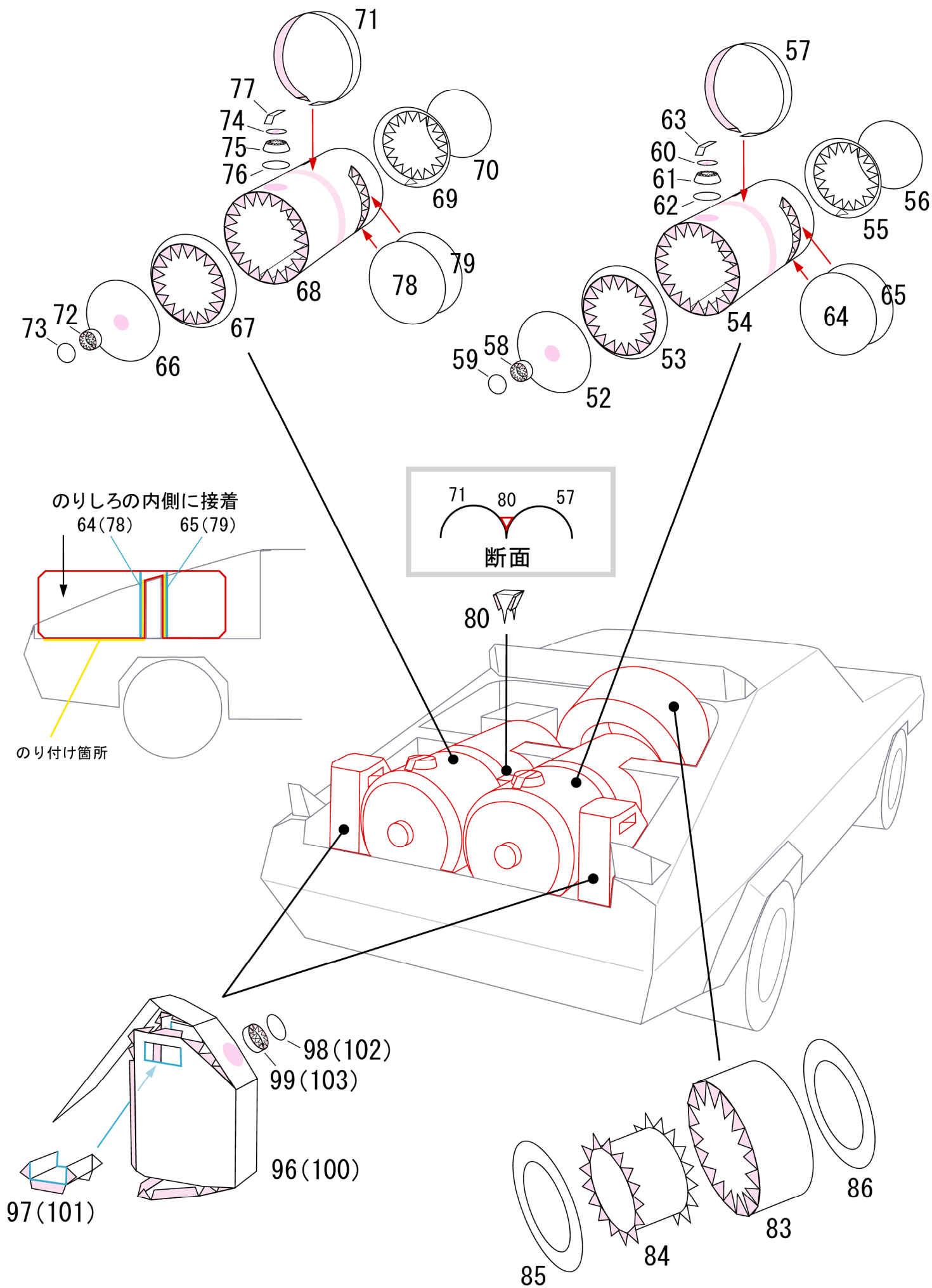
外側エッジに沿ってのりしろ貼り付け



底面の接合はリヤの端か、フロントの端から、パッチワークの要領で丁寧にのりしろを貼り合わせていきます。のりの乾きも計算してあまりまとめたのりしろを貼らず、一度に1〜3つ程度貼っていくのがいいでしょう。感覚としてはボディーの歪みを少しずつ矯正してゆくようなつもりでできるだけ正確に貼り合わせましょう。

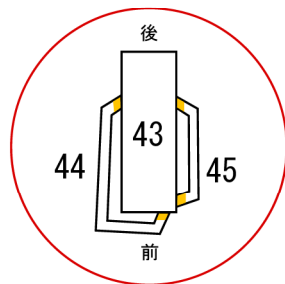
左図のように、車輪に極端に逆ハの字のようなクセがついてしまう場合は、右写真のように大きめの洗濯バサミなどで固定し、一日程度おけば、ある程度矯正できます。



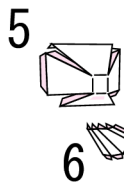
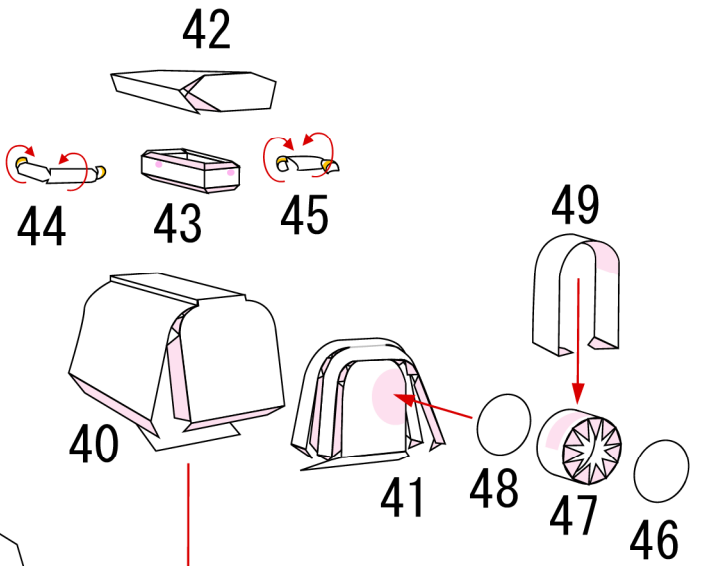


※ ポリタンクと予備タイヤはディスプレイに利用するため、接着しないでおきます。

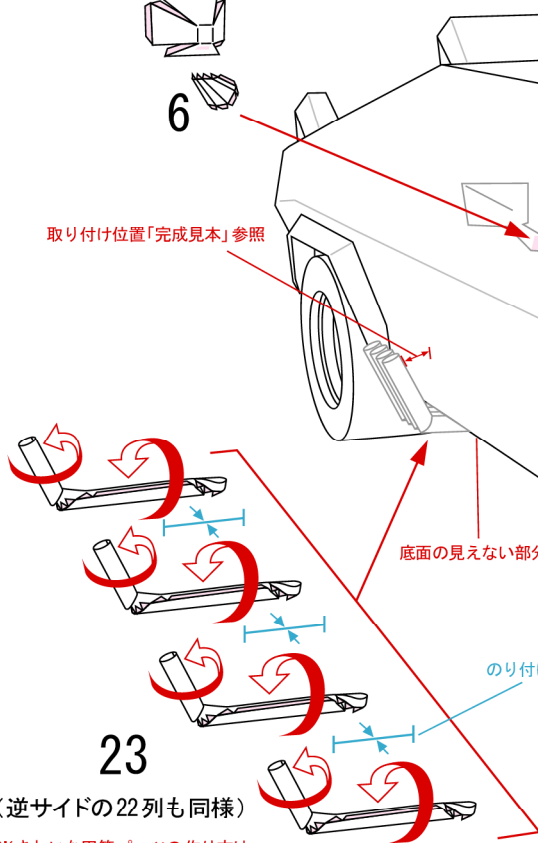
上面図



※ 44、45は最小パーツです。つま楊枝を軸にして巻くと
上手く工作できます。きれいな円筒パーツの作り方は
「ペーパークラフト制作の基本」を参照

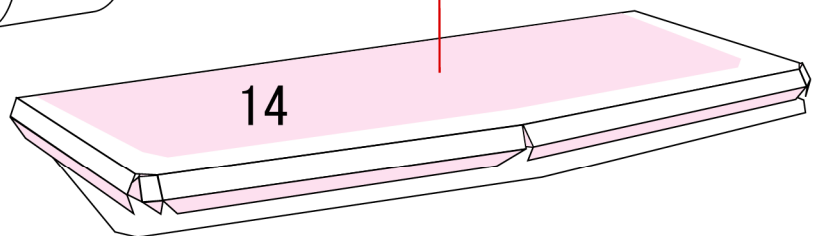


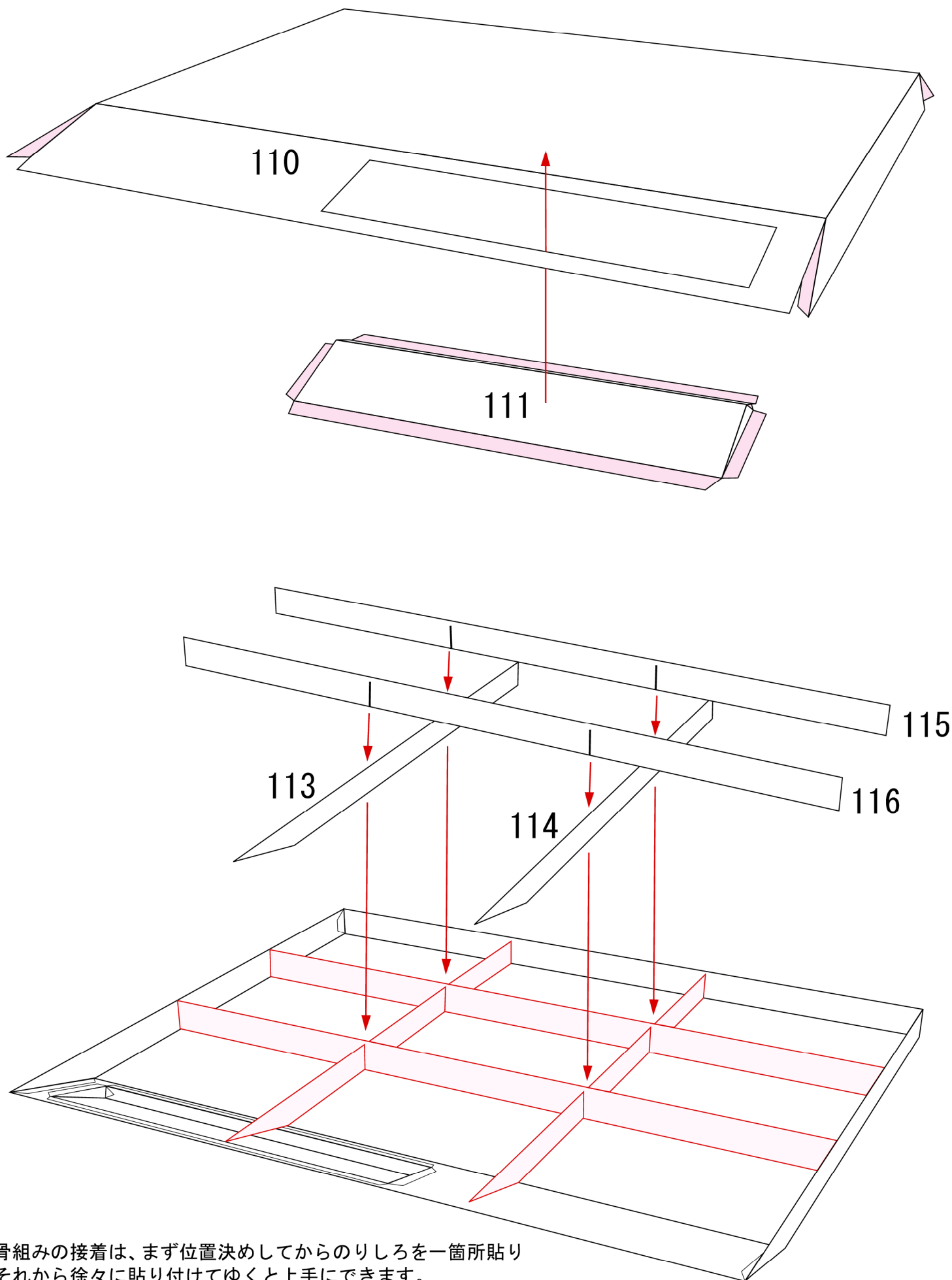
取り付け位置「完成見本」参照



(逆サイドの22列も同様)

※きれいな円筒パーツの作り方は
「ペーパークラフト制作の基本」
を参照





骨組みの接着は、まず位置決めしてからのりしろを一箇所貼り
それから徐々に貼り付けてゆくと上手にできます。

本体をディスプレイ
して完成！

